

喀痰吸引等研修（標準コース）

研修期間:令和 年 月 日～令和 年 月 日

【基本研修(講義)】

	科目名	内容	時間数	時間	合計	
1日目	開校式	オリエンテーション	0.5	9:00～9:30	8.0	
	1.人間と社会	1介護職員と医療的ケア	1.5	9:30～18:15 ＜休憩時間＞ 午前午後各15分 昼45分		
		2介護福祉士等が喀痰吸引等を行うことに係る制度				
	2.保健医療制度とチーム医療	1.保健医療に関する制度	2.0			
		2.医療行為に関係する法律				
3.チーム医療と介護職員との連携						
3.安全な療養生活	1.喀痰吸引や経管栄養の安全な実施	4.0				
	2.救急蘇生					
2日目	4.清潔保持と感染予防	1.感染予防	2.5	9:00～17:45 ＜休憩時間＞ 午前午後各15分 昼45分	7.5	
		2.職員の感染予防				
		3.療養環境の清潔、消毒法				
		4.滅菌と消毒				
	5.健康状態の把握	1.身体・精神の健康	3.0			
		2.健康状態を知る項目（バイタルサインなど）				
		3.急変状態について				
3日目	6.高齢者および障害児・者の喀痰吸引概論	1.呼吸のしくみとはたらき	2.0	9:00～17:15 ＜休憩時間＞ 午前午後各15分 昼45分	7.0	
		2.いつもと違う呼吸状態				
		3.喀痰吸引とは	3.0			
		4.人工呼吸器と吸引				
		5.子どもの吸引について				4.0
		6.吸引を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意				
7.呼吸器系の感染と予防（吸引と関連して）						
8.喀痰吸引により生じる危険、事後の安全確認						
4日目	7.高齢者および障害児・者の喀痰吸引実施手順解説(1)	9.急変・事故発生時の対応と事前対策	2.0	9:00～17:15 ＜休憩時間＞ 午前午後各15分 昼45分	7.0	
		1.喀痰吸引で用いる器具・器材とそのしくみ、清潔の保持	4.0			
		2.吸引の技術と留意点				
		3.喀痰吸引にともなうケア				
		4.報告および記録				
5日目	8.高齢者および障害児・者の経管栄養概論	1.消化器系のしくみとはたらき	3.0	9:00～17:45 ＜休憩時間＞ 午前午後各15分 昼45分	7.5	
		2.消化・吸収とよくある消化器の症状				
		3.経管栄養とは				
		4.注入する内容に関する知識				
		5.経管栄養実施上の留意点	4.5			
		6.子どもの経管栄養について				
		7.経管栄養に関係する感染と予防				
		8.経管栄養を受ける利用者や家族の気持ちと対応、説明と同意				
6日目	9.高齢者および障害児・者の経管栄養実施手順解説(1)	9.経管栄養により生じる危険、注入後の安全確認	2.5	9:00～17:45 ＜休憩時間＞ 午前午後各15分 昼45分	7.5	
		10.急変・事故発生時の対応と事前対策				
		1.経管栄養で用いる器具・機材とそのしくみ、清潔の保持	5.0			
		2.経管栄養の技術と留意点				
		3.経管栄養に必要なケア				
4.報告および記録						
7日目	オリエンテーション	演習、実地研修について	0.25	9:00～9:15	7.25	
	7.9.高齢者及び障害児・者の「たんの吸引・経管栄養」実施手順解説(2)	喀痰吸引の技術と留意点②	3.0	9:15～17:30 ＜休憩時間＞ 午前午後各15分 昼45分		
		経管栄養の技術と留意点②	3.0			
	筆記試験	60分(30問) 合格90%以上	1.0			

【基本研修(演習)】

8日目	喀痰吸引	口腔内の喀痰吸引5回以上	7.0	9:00～17:15 ＜休憩時間＞ 午前午後各15分 昼45分	7.0
		鼻腔内の喀痰吸引5回以上			
		気管カニューレ内部の喀痰吸引5回以上			
9日目	経管栄養	胃ろう又は腸ろうによる経管栄養5回以上	7.0	9:00～17:15 ＜休憩時間＞ 午前午後各15分 昼45分	7.0
		経鼻経管栄養5回以上			
		救急蘇生法			

【実地研修】第1号研修は5行為すべて、第2号研修は任意の行為(1行為以上)履修

基本研修修了の日の翌日から研修期間最終日まで	喀痰吸引	口腔内の喀痰吸引10回以上	
		鼻腔内の喀痰吸引20回以上	
		気管カニューレ内部の喀痰吸引20回以上	
	経管栄養	胃ろう又は腸ろうによる経管栄養(滴下型)20回以上	
		経鼻経管栄養20回以上	